

国 語 問 題

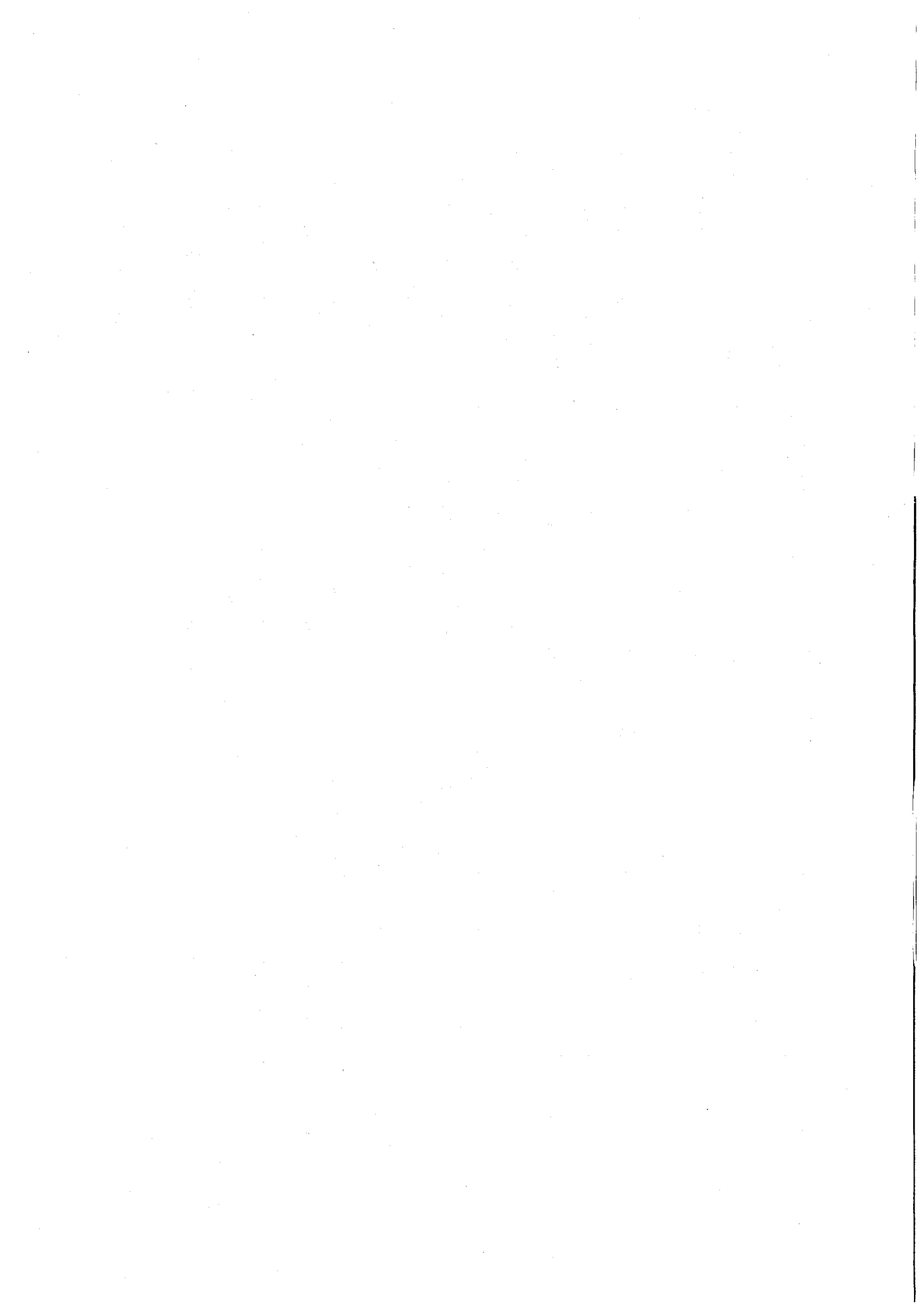
はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は十四ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
3. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合して確認すること。
4. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
6. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
7. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
8. 文字は楷書で正確に書くこと。
9. 解答用紙は持ちかえないこと。
10. この問題用紙は必ず持ちかえること。
11. 試験時間は六十分である。

(マークの記入例)

良い例	悪い例
●	○ ⊗ ◐



(一) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

現実の見え方はひとつに定まらない。こうも言えるし、ああも言える。そうした複数の視点に想像力が働き、ひとつの視点に縛られない柔軟性をもつことは、異質な人間同士、文化同士の共存の道を開く。

欧米流に論理的に一貫しているというのは、他の視点を抑圧し、封じ込めることにつながる。自分の意見に一貫性をもたせようとするあまり、例外的なものに目をつぶるということが起こりがちとなる。たとえば、自力で解決しなければという思いもあれば、だれかに頼りたいという思いもある。ある人に甘えたいという思いもあれば、反発する思いもある。私たちの心の中には、いろんな思いが渦巻いている。私たち人間の心に一貫性があるのではなく、一定の考えや感情と矛盾するものをノイズとして切り捨てることによって、a がとられるのだ。

心理的抑圧があまりに深刻だったところに抑圧概念を基本とするフロイトの精神分析が生まれたのだと考えれば、西洋の人々の心の深層に抑圧の心理メカニズムが広く見られたことだろう。その精神分析が欧米でさかんであることは、欧米社会に抑圧の文化的風土が^①シントウしていることの証拠と言えないだろうか。

自分の考えることは論理的に整合性がないといけない。そのような一貫性への欲求が強すぎるところに、抑圧が生じる。一貫した自分であるためには、矛盾する思考や感情を抑圧しなければならない。日本のように、人間を矛盾をばらんだ存在と認め、一貫性への欲求が弱く、他人の矛盾にも自分自身の矛盾にも寛容な文化のもとでは、抑圧という深層心理メカニズムはあまり必要とされない。

その証拠に、解離性同一性障害、俗に言う多重人格が、アメリカやカナダに比べて日本には極端に少ない。日本では全国で数えるくらいの症例しか報告されないのに対して、北米では自分の施設だけで、数十から数百の症例を経験したという医師も珍しくない。

多重人格は、自分の中の多面性を認めることができず、意識している自己像と矛盾した考えや思いを抑圧することによって、

別の人格が生み出される病理といえる。ある意味でいい加減な日本では、そもそも抑圧する必要がないのだ。

貿易問題における利害の対立を見ても、宗教問題における思想の対立を見ても、自分の価値観と矛盾するものを許さずに排除するという姿勢が、争いごとの多い世の中をもちたっている。

「それもよし、これもよし」的な日本的な曖昧さや緩さは、国際社会においてはいい加減さとみなされ、「どうしたいという意見がない」「どうするのがよいかを判断する価値軸をもたない」「主義主張がない」「言うことがコロコロ変わり、一貫性に欠ける」「決断できない」などといった批判にさらされがちである。

だが、このような日本的な曖昧さや緩さは、自他の共存、異質な文化・価値観の共存にとつて、^A非常に都合のよい性質とも言える。

国際社会においても、そうした日本的な心のあり方や、日本的なコミュニケーションについての理解を求めていく努力が必要だろう。諸外国にもそうした発想が広がれば、思いやり外交が実現する可能性が広がる。そうなれば、利己的なぶつかり合いが減り、相互の視点を共有し合った話し合いができるようになるかもしれない。

思いやり外交というのは、自国の視点を相対化せず、利害が対立する国、自文化の価値観と矛盾する価値観をもつ文化にも共感でき、相互に相手の視点を思いやりながら、双方が納得のいく着地点を模索しようという外交スタイルをイメージしたものである。

ここで、二〇一一年の東日本大震災のとき、日本の被災者たちの秩序ある行動が、海外メディアの驚きと賞賛をよんだことを再び思い出していきたい。

大震災の一カ月後に、『これからの「正義」の話をしよう』という著書で話題となったマイケル・サンデルが、インターネット中継によって行った特別コウギ^②「大震災 私たちはどう生きるのか」の中でも、そのことが取り上げられている。

「震災直後の日本人の行動を海外の人々はどう受け止めただろうか。強盗も便乗値上げもほとんど起こらなかった。アメリカのハリケーン・カトリーナの災害の時に見られた現象が、日本ではほとんど起こらなかったのだ。

この事実は外国人ジャーナリストの間で多くの感動を呼び起こした。例えば、ニューヨーク・タイムズの記事(二〇一一年三月二六日付)では、『日本での混乱の中での、秩序と礼節。悲劇に直面しての冷静さと自己犠牲、静かな勇敢さ、これらはまるで日本人の国民性に織り込まれている特性のようだ』と書かれている」

このことをめぐって、各国の学生が賞賛と驚きの思いを込めた意見を述べているが、同様のことは阪神・淡路大震災のときも指摘された。もちろん、日本でも略奪や便乗値上げがカイク③^③だったわけではない。このような論評に対しては、必ず反論をする人がいるものだ。だが、カイクかどうかを問題にしているわけではない。海外のケースと比べれば、ほとんどないに等しいという、程度の問題である。

ニューヨーク・タイムズの言うような、日本人の国民性に織り込まれている秩序と礼節というのは、これも状況依存社会であればこそものといえる。人道的とか正義といった、抽象概念に基づく原理原則を守ろうといった意識が乏しいと批判される日本が、いざというときの秩序と礼節が見事であると賞賛される。このような秩序と礼節は、目の前の人のことを思いやるという状況依存の心の構えがもたらすものである。

④シ^④いて言えば、間柄の倫理であり、状況依存的な倫理観である。抽象概念による原理原則に縛られて、人間としての義務感で行動するわけではなく、ただ目の前の人を放っておけないのだ。非常に具体的な状況の中で、多くの人々の心の中に自然に湧いてくるものといえる。

このように、状況依存社会の深層に根づいている思いやりのコミュニケーションは、抽象的な原理原則の形をとった倫理観よりも、現実場面において個人を倫理的な行動に導く力をもっているのである。

わかりにくい日本人とは、よく言われることであり、私たち日本人自身もよく思うことである。だが、論理的一貫性をもとにした主義主張のぶつかり合いが、異質な人間同士、文化同士の共存を危うくしている今日、日本的な曖昧さや緩さが何らかの貢献をする余地があるのではないか。私たち自身、身近すぎて見えづらくなっている状況依存社会日本の深層構造の問題点に目を向けるとともに、その良さも再認識し、相互理解と思いやり外交に活かす道を模索することも必要であろう。

C
グローバルな時代に、日本が貢献できることは何か。そんなことを考えるとき、日本的コミュニケーションのわかりにくさの中にも、ひとつのヒントがあるように思えてくるのである。
(榎本博明の文章による)

問一 傍線部①②③④のカタカナの部分に漢字に改めよ。

問二 左の一文は、もともと本文の、ある段落の冒頭にあったものである。その段落の初めの五字(句読点があれば、一字と数える)を抜き出して記せ。

自分は一貫した自分でなければならない。

問三 本文中に一箇所誤りがある。その誤りを含む語句(五字)を抜き出して訂正せよ。

問四 空欄 a に入る最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 自己の多面性の体裁
- 2 抑圧にも寛容な態度
- 3 論理的一貫性の装い
- 4 個別対応の心の構え
- 5 心理的抑圧の同一性

問五 傍線部A「非常に都合のよい性質とも言える」とあるが、その性質とは何か。本文中の十五字の言葉をそのまま抜き出して記せ。

問六 傍線部B「状況依存の心の構え」とあるが、その説明として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 具体的な場面に応じて、それに見合った行動原則を決めていくこと
- 2 自立することができないため、常に何よりも協調性を重んじること
- 3 他者との交流のためであれば、自我を捨てる覚悟ができていくこと
- 4 その時々時代の潮流をいち早く察知して生き方を変えていくこと
- 5 道徳観を捨てても場の雰囲気に関心を合わせていくこととする

問七 傍線部C「グローバルな時代に、日本が貢献できることは何か」とあるが、筆者の考える「貢献できること」とは何か。本文中の言葉を用い、四十一字～四十五字(句読点も一字と数える)で説明せよ。

問八 本文の論旨に合うものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 日本の企業は無責任体質に見えるが、決して責任逃れをしていくわけではなく、多様な視点に対する寛大さがそういった誤解を生みだす。
- 2 日本人は自己主張が苦手だと言われるが、実は意識的に自己主張をひかえることによって、他者の論理を受容しようとしているのである。
- 3 日本の社会の特徴は、他の視点を抑圧するため、対立する意見にも正面からは反論せず、あえて曖昧な態度をとる傾向が強いことである。
- 4 日本で抑圧という心理メカニズムが欧米ほどに重視されないのは、矛盾を矛盾のまま受け入れる文化的風土と深く関係していると言える。
- 5 日本の文化においては、主張を言語化して伝達し合うよりも、他者に対する違和感を互いに共有し合うことで、集団の和を尊重してきた。

(二) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

自己本位主義的志向を強化すればするほど、社会は「社会なき社会」というアノミー状態を呈するようになる。社会がアノミー化していればいるほど、自己本位主義的志向は増強されるほかない。このような悪循環過程が、よるべき時代の社会的な背景である。

このところ状況はさらに変化し、自己本位主義的志向という視点だけでは十分把握しきれない現実が出現してきたようにおもえるのだ。

とりあげたいのは携帯電話の登場という問題である。携帯電話は、自己本位主義的志向がきわめて強度をおびた社会状況と呼応したアイテムである、このことは誰もがみとめるにちがいない。しかし、携帯電話の出現というできごとの象徴性を、記述するためには、自己本位主義的志向だけではもはや十分ではなく、もう一つ「個人化」という概念を必要としているようなのである。

理由の第一は、機器の特性として共用をこぼむということ、一人ひとり個々が所有するという意味で、また機能が個々の暮らしや交遊や興味などと密接にむすびついていることである。

理由の第二は、機器と個々の存在の同一性とが不可分な関係に入ったことである。携帯電話なくしては自己存在の同一性を保ちえないと感じている、それくらい依存度を高めている人たちが大量に出現してきているのである。一人ひとりが、自分の所持する携帯電話と一体化しているのである。

これらが個人化という用語を要請してくる現実である。

携帯電話をめぐる社会現象を記述するために、個人化という概念を必要とすることに気づいたのは、一五年ほどまえのことである。一九九六年、携帯電話が巷にどつと溢れはじめたときの驚きはわすれられない。電車の中のうちこちで呼び出し音が鳴ると、かたわらに人がいるのにもかかわらず、通話がはじまるのだ。声のトーンを落す人、落さない人。声を落さないのはサラ

リーマン、車内で ア の営業が開始される。機器にむかって繰り返し頭をさげている人も目撃できる。

隣り同士のとりとめのない小声の会話が成立しない。携帯電話が車内に通話による騒音という無規制状態を生んだのだ。これをマナーの崩壊という「上からの視点」でとらえるつもりは当時も毛頭なかったし、いまもない。^B それでは思考停止に陥るだけだからである。

アノミーという視点にたつと、事態は単純明快であった。車内という公共の場所が、携帯電話という徹底した自己本位主義的メディア機器の登場によって、あつという間にアノミー空間と化してしまったのである。社会空間のアノミー化である。

もう一つ私が気になったのは、携帯電話による ア の行動という点では同じであるのだけれど、ややおもむきを異にする現象であった。それは、こんな話を聞いてしまってもいいのだろうかと思われるほどのプライベートな内容の会話がはばかり様子もなく、かわされることであった。そういえば、電車の中で化粧が堂々とおこなわれるようになったのもこのころからである。どちらも隣りにすわっている私がまるで存在しないかのごとくふるまう光景であることを共通点としている。こうした現象は私の中に、どうして他者の耳や目を遮断できているかのようにふるまうことができるのだろうか、という問いを生み出したのだった。

繰り返しすが、こういう現象につつしみやたしなみの欠落、はずかしさやはしたなさの感覚の欠落をみるといった倫理的な接近だけは避けたかった。あくまで時代精神の一面が映し出されるような語彙でもって事態を把握できたらとおもったのだ。そこで自己領域化という用語をつくって対応することにした。

携帯電話が使用状態にはいったとたん、その使用者はあたかもみえない皮膚に一人つつまれたかのように、自己世界を閉鎖し、そこに没入するのである。こうした個人化状況を自己領域化現象となづけてみた。すると、車内という社会空間がいくつも出現した自己領域によって複数に分割されたがイメージ可能になってきたのである。ここから、社会空間のアノミー化と社会空間の自己領域化による分割とは、個人化の表裏一体の現象であるという理解がみちびきだされる。

携帯通信機器のいちじるしい進化は、車内の同時多発的な通話がひきおこす「そうぞうしいアノミー」を一掃してしまった。け

れども、自己領域化状況はその表面上のかたちをかえて温存されたのである。いまや車内の大半の人たちが進化した機器の画面に集中し、黙々とよりふかく自己領域の世界に没入するようになったのだ。ここに「静かなアノミー」と呼んでいいような現象が出現してきた。

機器の進化によってもたらされた静けさに満ちた車内は一見、秩序だつており、その意味で個々は社会化されているようにみえる。だが、この状況は自己領域化の深まりがつくりだしたものであって、社会化、秩序化とは似て非なるものである。そう考えるのは、自己領域化の深まりが、自分の周りの他者のニードへの静かな無関心というかたちでひろがっているように思えてならないからである。

ラッシュ時をさけて電車を利用することの多い私が、このところの特徴ではないかとみなしていることがある。下は制服姿の小学生の子どもたちから上は中年のサラリーマンまで、われさきに空席の確保をめざす人たちが増えているように感じられる（それと正反対に混雑していても優先席には決して座ろうとしない若い人（男性）がすくなくからずいることも特記しておく必要があるだろう）。だが、このような光景はずっと以前から見られたものだろう。

私が興味深く思うのは、こうした小サバイバルゲームの勝者が次にとる姿勢である。 a 席を得ると彼らはすぐ自分の携帯通信機器を手に、それに没入しはじめるのである。 b、自分のまえに足元のたしかでない老人が立とうと、妊婦が立とうと、障害者が立とうとといったさい反応を示さなくなる。

c 席をつめようとしてもしなければ、譲ろうとする気配もない。目前の人間がどういふ状況にあるかを知っていてなおかつ無関心をよそおっているのではない。携帯電話という自己領域世界へ入りこみ、その世界に没入しているため、周囲に生じている他者のニードに無関心状態になっているのである。こうした状況は「静かなアノミー」の一例としてとらえることができるのではないだろうか。

（芹沢俊介の文章による）

〔注〕 アノミー状態——社会に必要とされる秩序や規律が失われ、混沌とした状態

問一 傍線部A「機器と個々の存在の同一性とが不可分な関係に入った」とはどういうことか。その意味として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 個々人の携帯電話が互いに共通の存在価値を持つようになり、その違いの判別が極めて不明瞭になってきたこと
- 2 携帯電話が単なる道具ではなくなり、それなしでは自らの存在を確認できない、といった段階になってきたこと
- 3 人間の自己同一性というものが、携帯電話の存在が加わることによって、他人と不可分な関係を作り始めたこと
- 4 携帯電話の技術革新が一段と進み、個々人の存在が携帯電話という機器に支配される時代になってしまったこと
- 5 一人ずつ個々に所有する携帯電話というものが共用をこばみ、個々の暮らしや交遊等と不可分に結びついたこと

問二 空欄 に入る四字熟語として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 品行方正
- 2 付和雷同
- 3 我田引水
- 4 傍若無人
- 5 唯我独尊

問三 傍線部B「それでは思考停止に陥るだけだからである」とあるが、「思考停止に陥る」のはなぜか。理由として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 倫理の低下という表層の現象を指摘するだけでは、そうした現象をもたらす根本的な原因を究明することができなくなるから。
- 2 マナーに違反する者は少数の存在であるため、社会の大勢について考えたことにならず、アノミー状態を解決できないから。
- 3 携帯通信機器が本来もっている他者との共用不可能性の問題を考察しなければ、「個人化」が蔓延する現状を改革できないから。
- 4 勝手気ままなふるまいとは個人の意識の問題であり、単に倫理や道徳に訴えかけるだけでは大した効果は見込めないから。
- 5 自己本位主義的志向が肥大化した社会では、人々は携帯電話により他者とのつながりを確認するだけで満足してしまうから。

(三) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

貧しくして、世にありわびたる若き女人ありけり。清水へ常に参りけるが、ある夜の示現(注1)に、老僧の告げ給ひけるは、「その傍らなる人の衣を盗め」と仰せらると見て夢覚めぬ。この事いかがあるべからんと、返す返す思ひ煩ひけれども、たしかの示現なれば、たとひいかなる恥がましき事ありともいかがせんと思ひ切りて、傍らの屏風に白き衣打ち懸けたるを引き落として、打ちかづきつつ、やがて下向する程に、五条の橋に大番衆と覺えて、武士勢々として行き会ひぬ。(注2)「いかなる人ぞ、ただ一人おはする」と言へば、物詣での下向の由言ひけり。「いざさせ給へ、田舎へ具し参らせん」となほざりに言ひかけしかば、「たより無き身にて侍れば、御哀れみあるべくは、いづくへも参りなん」と言ふを、「まことにや」と問へば、a 思ふ由言ひけり。見れば、若き女房のなびらかなりけり。「さては」とて、馬に打ち乗せて下りぬ。然るべき契りやありけむ、互ひの志浅からず、子息など出でて、(注3) 楽しく榮えて奥州のなにかや言ふ所にありけり。

さて、十年ばかりありて、またの大番にこの女房も相具して上りけり。都にゆかりもなくなりはててけるを、ありのままに言はんもさすがに人げ無く覺えて、親しき者もあるよし言ひつつ、既に京へ入りて、ある家の前を過ぐるとて、「これこそ我が伯母御前のもとよ」とて輿かき入れぬ。この女房、内へ入りて主を尋ねて申しけるは、「もとは京の者にて侍りしが、ゆかりありし者も皆失せぬ。親しき人も無きままにこれを我が伯母御前のもとと申して候ふなり。御心得あれ」とて、懐より金を五十兩取り出だして取らせければ、とかくのb なし。「姪御前の入らせ給ひたる」とてかひがひしくもてなす。家中足らひて樂しかりければ、ゆゆしくぞきらめきける。

さて酒など勧めて後、事しづまりて、主この女房に申しけるは、「(注4) そもそもいかなる御事にて、都に人こそ多く候ふに、かく親しくなりまゐらせつらむ、有り難き互ひの契りかな」と言ふ程に、「まことにこれも一世の事に侍らし。定めて昔の契りも深くこそ。かかるに付けては、我が身の事よろづありのままに語り申すべし」とて、始めよりこまごまと語りければ、主手をはたはたと打ちて、「あら不思議や。その衣はわらはが衣にてありしを、盗人にあひて後は、仏もうらめしく思ひ奉りて、常にも参

らざりける心の愚かさよ。かかる御計らひにて、未目出たるべしと知らざりける凡夫の心の愚かさよ。観音の御慈悲方便まめやかにまめやかにかたじけなくこそ」とて、互ひに袖をしぼりつつ、いよいよ清水へ打ち連れつつ常には詣でけり。互ひに頼みつつ、田舎よりも国の物上せ、京よりも京の色々の物下しなどして、まことの親しき人もいかでかこれに過ぎんとぞ見えける。

(「沙石集」による)

〔注1〕 清水——京都の清水寺。本尊は観音。

〔注2〕 大番衆——皇居警護の役を務めるために、京都に駐在している諸国の武士。

〔注3〕 一世——過去・現在・未来の三世のうちの一つ。特に現在世のこと。

問一 傍線部A「御哀れみあるべくは」を、主語を添えて口語訳せよ。

問二 空欄 a に入る語として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 なかなか 2 いたづらに 3 まめやかに 4 おろかに 5 かたみに

問三 傍線部B「さては」の後に補う語句として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 宮仕へ人にやおはすらん 2 親は身まり給ひけん 3 かちにて参りなん
4 やがて物詣でせん 5 具し参らせん

問四 傍線部C「楽しく」の反対語として最も適切な語を本文中からそのまま抜き出して記せ。

問五 傍線部D「人げ無く」の意味として最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 人付き合いがへたなように
- 2 人としての情愛がなく
- 3 人聞きが悪いように
- 4 人の気配がなく
- 5 人並みでなく

問六 空欄 b に入る最も適切な語を次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 つひえ
- 2 しさい
- 3 いらへ
- 4 おとなひ
- 5 ふんべつ

問七 傍線部E「そもそもいかなる御事にて、都に人こそ多く候ふに、かく親しくなりまらせつらむ」という疑問に対する答えとして、最も適切なものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 清水寺の老僧が盗みを教えてくれたおかげ
- 2 観音の慈悲による便宜的な方法のおかげ
- 3 夫が金五十両を持たせてくれたおかげ
- 4 親どうしが交わした深い契りのおかげ
- 5 伯母がかつて都に住んでいたおかげ

問八 傍線部F「目出たかる」の文法的説明として最も適切なものを、次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

- 1 名詞に動詞の連体形が付いたもの
- 2 形容動詞の連体形
- 3 形容詞の連体形
- 4 動詞の連体形
- 5 連体詞

問九 「沙石集」と同じジャンルのものを次の1～5の中から一つ選び、その符号をマークせよ。

1 日本霊異記

2 菟玖波集

3 愚管抄

4 明月記

5 無名抄

